

令和 4年 5月10日  
資料 提供  
県庁、西牟婁・東牟婁振興局  
同時提供



## 南紀熊野の民話

### 「橋杭岩の立岩伝説 鯛島と河内島」を作成しました

独特の景観で有名な串本町の橋杭岩等を題材とした民話を基に絵本を作成しました。南紀熊野ジオパークエリア内の小学校（41校）や保育園・幼稚園（約40園）に配布します。絵本教材として活用いただくことで、児童の頃から南紀熊野ジオパークを身近に感じ、興味を持ってもらえるよう工夫を凝らした一冊です。

#### 1 概要

##### 1 橋杭岩の立岩伝説

弘法大師と天の邪鬼が一晩で大島まで橋を架ける競争をしました。負けそうになった天の邪鬼が鶏の鳴きまねをして夜が明けたと思わせたため、弘法大師が作業を止め、橋を完成させることなく杭だけで終わったというお話。

##### 2 鯛島と河内島

仲むつまじかった鯛と蛇が海と川へと離れ離れとなり、お互い、恋しさの余り岩となってしまった。人々はその岩を「鯛島」、「河内島」と呼ぶようになり、これを知った弁天さんと大黒さんが1年に1度、鯛を蛇に会わせてやることになり、これが河内祭の始まりになったというお話。

#### 2 特色

##### 1 本物から写しとった大地の質感

実際に、橋杭岩の上に紙を置いて、鉛筆で凸凹をこすり岩の模様を写し取る「フロッタージュ」という技法を用い、大地の質感を再現しています。

##### 2 地域の言葉を用いた表現

「橋杭岩の立岩伝説」は串本弁、「鯛島と河内島」は、古座弁で記載しています。



※ 県立図書館（和歌山市西高松 1-7-38）及び情報交流センターBig・U（田辺市新庄町 3353-9）でも閲覧いただけます。

※ 冊子掲載ページ <https://nankikumanogeo.jp/download/>

#### 【問い合わせ】

南紀熊野ジオパーク推進協議会事務局

（環境生活部環境政策局環境生活総務課ジオパーク室内）

担当：大江（南紀熊野ジオパークセンター：0735-67-7100）

的場（ジオパーク室：内線2772）